

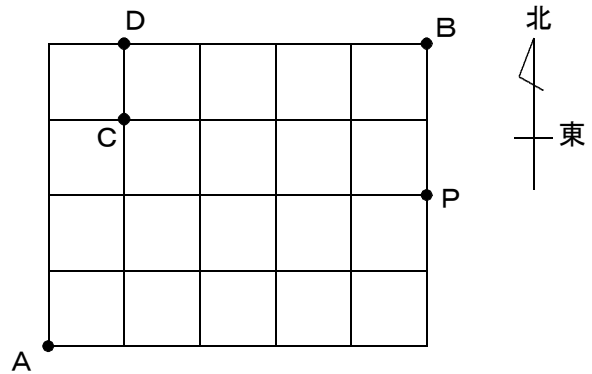
通過点の確率

◇ 《通過点の確率》 学力化 →

★解法の技術★

右の図のような道路があり、A地点からB地点まで最短距離で移動する。ただし、各交差点において東、北のいずれの進路も進むことができるときは、東、北に進む確率はともに $\frac{1}{2}$ で、一方しか進めないときは、確率1でその方向に進む。

(1) C地点を通過する確率を求めよ。
 (2) D地点を通過する確率を求めよ。

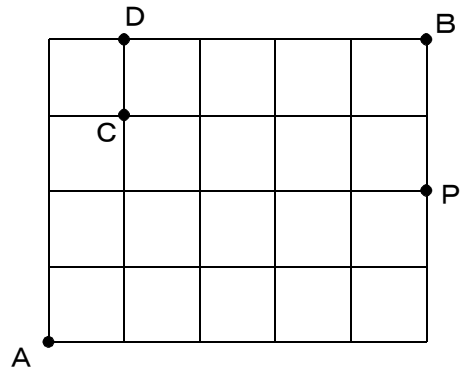


- 【考え方】 (1) C地点を通過した後のことは考えなくてもよい。
 (点Bまで行く確率を求めるわけではない。)
- (2) E地点を通過するかどうかで場合分けをする。

[答 案]

(1) C地点に到達するまでに、東、北のいずれの方向にも進むことができる交差点を、Aも含めて4か所通過する。

この4か所の交差点で、東に1回、北に3回進むとC地点を通過する。



これを図で表すと、

		1回	2回	3回	4回	
[1] 1パターン	}	$\left[\begin{array}{cccc} \rightarrow & \uparrow & \uparrow & \uparrow \\ \frac{1}{2} & \cdot & \frac{1}{2} & \cdot & \frac{1}{2} & \cdot & \frac{1}{2} \end{array} \right]$				
[2] パターン数 ${}_4C_1$						

◀各回の試行は独立だから「積」

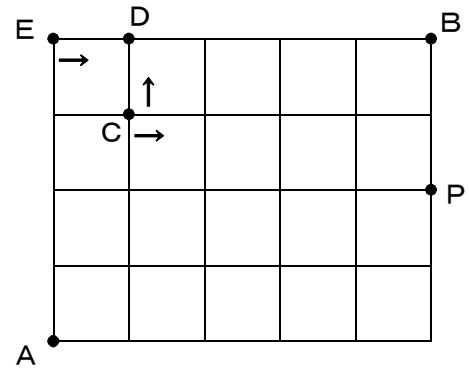
[3] 確率 ${}_4C_1 \left(\frac{1}{2}\right)^1 \left(\frac{1}{2}\right)^3 = 4 \times \frac{1}{2} \times \frac{1}{8} = \underline{\underline{\frac{1}{4}}}$

□ □ 【独立な試行の確率 No. 7 (1/6)】 - 〈2枚目/2枚〉

➡ (前のページからのつづき)

(2) 右の図のように、交差点Eを定める。

Dを通過する道順には、Eを通過するかどうかで、次の3つの場合があり、これらは互いに排反である。



(i) A → E → Dの順に進む場合

その確率は、 $\left(\frac{1}{2}\right)^4 \times 1 = \frac{1}{16}$

◀【注】

(ii) A → C → Dの順に進む場合

・ A → Cの確率は、

1回	2回	3回	4回
----	----	----	----

① 1パターン

$$\left(\begin{array}{cccc} \rightarrow & \uparrow & \uparrow & \uparrow \\ \frac{1}{2} & \cdot & \frac{1}{2} & \cdot & \frac{1}{2} & \cdot & \frac{1}{2} \end{array} \right)$$

② パターン数 ${}_4C_1$

◀各回の試行は独立だから「積」

③ 確率 ${}_4C_1 \left(\frac{1}{2}\right)^1 \left(\frac{1}{2}\right)^3 \dots \textcircled{1}$

◀【注】A地点からE地点に進むとき、東、北のいずれの方向に進める交差点を4か所通過し、すべて北へ進む。

・ C → Dの確率は、 $\frac{1}{2} \dots \textcircled{2}$

①, ②より、A → C → Dの確率は、

$$\begin{aligned} & {}_4C_1 \left(\frac{1}{2}\right)^1 \left(\frac{1}{2}\right)^3 \times \frac{1}{2} \\ &= 4 \times \frac{1}{2} \times \frac{1}{8} \times \frac{1}{2} \\ &= \frac{1}{8} \end{aligned}$$

◀各回の試行は独立だから「積」

(i), (ii)より、求める確率は、

$$\frac{1}{16} + \frac{1}{8} = \frac{3}{16}$$

◀排反事象の確率は「和」